

平成 26 年度九州史学会プログラム

12月13日（土） シンポジウム（史学会共催）

旧工学部本館大講義室（午後1時より）

「過去を伝える、今を遺す—歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか—」

考古学の現在と未来—公共考古学の位置価値の視点から—

アーカイブズ資料情報の共有と継承—Web2.0 時代の情報管理と責任—

高校世界史と教科「情報」—クリティカル・シンキングから資料リテラシーへ—

歴史資料をめぐる「よそ者」と「当事者」—専門家の知性と市民的知性—

コメント

九州大学 溝口孝司

九州大学 清原和之

修猷館高校 吉永暢夫

神戸大学 市沢哲

京都府京都文化博物館

村野正景

対馬歴史民俗資料館 古川祐貴

懇親会 福岡リーセントホテル（午後6時30分より） 会費5,000円（学生2,000円）

12月14日（日） 研究発表

（午前9時より）

＜日本史部会＞（法文系講義棟102番教室）＜午前9時開始＞

斉明紀四年は歳条分注の「繕修城柵」についての再検討

東大寺の文書出納と社会

竹崎季長が絵解きする『蒙古襲来絵詞』

武家肖像賛と領国支配

近世期天草漁村の管理体制—遠見番を中心に—

幕末期対馬藩の海外事件情報の受発信—慶応2年（1866）丙寅洋擾の情報を中心に—

大正期皇室制度改革と政治

町村合併の拒絶と村有林—岡山県英田郡西栗倉村議会を中心に—

佐世保高専 堀江 潔

西南学院大学 森 哲也

九州大学 服部 英雄

九州大学 伊藤 幸司

九州大学 中村 菜緒

北九州市立自然史・歴史博物館

守友 隆

東京大学 国分 航士

九州大学

スベン・クラマー

＜東洋史部会＞（法文系講義棟204番教室）＜午前9時開始＞

東晋南朝における贈賄制度について

元末明初における日本禅僧と中国文人の交遊—聡聞極の事例を中心に—

海澄攻防戦（1678—1680）をめぐる清朝と鄭氏勢力—『華夷変態』を中心として—

明治中期における日本産人参の対清輸出—輸出货量急減とその要因—

初期の「満洲国」農村実態調査について—康徳元年『「満洲」農村実態調査・全国工場調査』を中心に—

モンゴル国史の起源

唐代前期における北衙禁軍と蕃将の関係

南宋朝朱熹による伝記題跋執筆の動機と意義

モンゴル時代のチベット仏教カルマ=カギユ派—モンケ治世期を中心に—

達魯花赤の遷転・補任規定からみたモンゴル王公の人員任用

『西隠文稿』からみた元明交替と北人官僚

九州大学 劉 可維

九州大学 呉 鴻盛

九州大学 郭 陽

九州大学 童 德琴

大連大学 永井 リサ

下関市立大学 橘 誠

早稲田大学 林 美希

広島修道大学 津坂 貢政

大阪国際大学 山本 明志

立命館大学 牛根 靖裕

早稲田大学 飯山 知保

＜朝鮮学部会＞（法文系講義棟202番教室）＜午前10時開始＞

黒齒常之関連史料の総合的再検討

9世紀初期新羅の対唐外交と藩鎮討伐

高麗後期の浄土信仰と社会—韓国・開運寺藏阿彌陀仏腹藏願文を手がかりとして—

朝鮮前期における配流方式の多様性—「付処」、「安置」からみるその役割と意義—

フランシス・レイの第2次日韓協約に関する事実認識

山陰の漁業者と韓国

戦後の京城女子師範学校卒業生の同窓会活動

韓国における法律不遡及の原則に対する考察

早稲田大学 植田喜兵成智

啓明大学 小宮 秀陵

滋賀県立大学 安田 純也

九州大学 和田 健太

県立広島大学名誉教授

原田 環

島根県竹島問題研究顧問

藤井 賢二

福岡大学 広瀬 貞三

九州大学 水島 玲央

＜イスラム文明学部会＞（法文系講義棟203番教室）＜午前10時30分開始＞

サファヴィー朝モハンマド・ホダーバンデ期におけるハムゼ・ミールザーの対キジルバール政策

九州大学 市川千乃
京都大学 小倉智史

16世紀カシミールのサンスクリット文献における muggula について
シンポジウム「ユーラシア諸帝国における君主と軍事集団の展開」

共催：科学研究費補助金基盤研究B「ユーラシア諸帝国における君主と軍事集団の展開—境界を越える武人とその紐帯—」

イスラーム帝国アッバース朝における君主と軍事集団

九州大学 清水和裕

サファヴィー朝統治体制における君主と軍事集団

首都大学東京 前田弘毅

ムガル帝国における君主と軍事集団

神戸大学 真下裕之

マンジュ=大清帝国における君主と軍事集団

東京大学 杉山清彦

＜西洋史部会＞（法文系講義棟301番教室）＜午前10時開始＞

15世紀イングランドにおけるジェントリの所領防衛

福岡大学 古城真由美

近世フランスにおける国王役人の人事管理—騎馬警察隊員の転任（配置転換）—

長崎大学 正本忍

リシュリュー宰相期（1624～1642）の中央と地方

呉海上保安大学 岡本明

中世北イタリアにおける河川交通と紛争

神戸大学 高田京比子

鼎立する言語とネーション—ハプスブルク期トリエステの言語環境—

神戸大学 根本峻瑠

移動する先住民集団と連邦国家—19世紀後半の合衆国とカナダにおけるシッティング・ブル逃亡の事例から—

大阪大学 岩崎佳孝

ワイマル期以降のドイツ・シオニズムの動向に関する一考察

広島大学 長田浩彰

第三帝国における経済の脱ユダヤ化政策の成立

東亜大学 山本達夫

ヨーロッパ運動と統一ヨーロッパ・アメリカ委員会「欧州政治共同体」をめぐるトランスアトランティック・ネットワーク—

日本学術振興会特別研究員

高津智子

＜考古学部会＞（法文系講義棟101番教室）＜午前9時30分開始＞

最先端地球科学分析を用いた胎土分析の精密化

九州大学
石田智子・足立達朗・
中野伸彦・小山内康人・

近畿弥生社会における墓域の構造と集団

田中良之
京都府教育委員会 藤井整

地域間比較からみた須恵器生産—山陰と北部九州地域の比較から—

山口県埋蔵文化財センター

考古資料からみた蝦夷地の内国化

岡田裕之

イングランド・ビーカー期の特異な埋葬事例の検討

弘前大学 関根達人

四肢骨の断面形態の性差からみた性分業に関する人類学的研究

九州大学 石川健

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

磁州窯系陶器の日本への流通の様相

高椋浩史

中国東南部地域における窯業技術に関する一考察

九州大学 柿添康平

山口県立萩美術館・浦上記念館

大内氏館跡の庭園について

徳留大輔

山口市文化財保護課

学校所蔵考古資料の現状と未来—京都文化博物館の取り組みを事例として—

丸尾弘介

京都府京都文化博物館

村野正景